

## ドッジボール大会 ルール（日本ドッジボール協会 公式ルール一部抜粋）

- ・ チーム

1 チーム 10 名です。試合は 10 名対 10 名で行います。

- ・ 元外野

元外野は 1 名以上 9 名以下でその中でチームで自由に選べます。元外野も相手の内野の選手をアウトにしなければ自分の内野に戻れません。外野が内野の選手をアウトした場合、速やかに内野に戻らなければ、権利を放棄したとみなします。

- ・ ジャンプボール

試合はジャンプボールで始まります。ジャンパーへの内野からの第 1 投の攻撃は禁止です。

- ・ 抗議・アピール

試合中審判に抗議はできません。

- ・ 攻撃とアウト・セーフ

相手のノーバウンドの投球を取れなかったり、当てられた場合にアウトになります。一回のノーバウンドの投球で 2 名以上あたった場合は、最初の 1 名がアウトになります。顔や頭にボールが当たった場合はセーフです（ヘッドアタック）。1 度味方に当たったボールを、ノーバウンドで取った場合は、その当たった選手はセーフです。相手が投球したときにファールがあった場合、当たってもセーフです。

- ・ 内野同士・外野同士のパス禁止

味方の内野同士・外野同士のパスは禁止です。

- ・ 内外野への移動

試合中の内外野への移動はコートの外を通らなければいけません。

- ・ ボールデットとボールの支配権

試合中、コート（内外野）の外にボールが出た時、ボールデットとなります。ボールデットになった時、そのボールは最後にさわったのが内野の選手の場合相手の内野ボールになります。最後にさわったのが外野の選手の場合、ファールがなければ自分の外野ボールになります（ワンタッチ）。ただし、外野が投げたボールが直接ボールデットになった場合は、相手の内野ボールとなります。

- ・ 外野からのプレー再開

ワンタッチなどで外野の外からボールを取ってプレーを再開するときは、1度外野の中に入ってボールを頭の上に上げてからプレーを再開となります（外野の外から助走をつけて投げるのは禁止です）。

- ・ 内野復帰の放棄

外野の選手が相手をアウトにしても次の場合は自分の内野に帰れません。アウトを取ってから、外野の中でボールにさわったとき。アウトを取ってから、すぐに自分の内野に帰らなかったとき。

- ・ ファールとボールの支配権

- ・ オーバーライン

- ボールを投げるときラインを踏んではいけません（2歩目も）。相手の内野ボールとなります。

- ボールを取るときラインを踏んではいけません。相手の内野または外野ボールとなります。

- ・ ホールディング

- 相手のコートに転がっているボールをかき寄せてはいけません（空中はOK）。ボールのあったところのボールとなります。

- ・ キープ・フォー・ファイブ（=5秒ルール）

- ボールを取ってから5秒以内に投げなければいけません。相手の内野ボールとなります。

- ・ タッチ・ザ・ボディー

- 試合中、わざと相手の選手にふれてはいけません。相手の内野または外野ボールとなります。

- ・ ダブルパス

- 内野同士・外野同士のパスは禁止です。相手の内野ボールとなります。

- ・ ヘッドアタック

- 相手の頭や顔を攻撃してはいけません。相手の内野ボールとなります。

- ・ ファイブパス

- パスは4回まで、5回目には攻撃しなければいけません。相手の内野ボールとなります。

**※試合中・試合後いかなる場合でも審判に対する抗議は認めません。  
審判の判定を優先します。**